

評価結果の対応方針

昨年7月27日、谷和原公民館において、3回目の「事業仕分け」を実施しました。当日は、市民判定員19人、構想日本から仕分け人5人、コーディネーター1人によって5事業9項目の仕分けを行いました。

今回実施した事業仕分けの判定結果を踏まえ、市では事業の必要性や効果などを再検討し、平成26年度の予算編成に取り組んできました。各事業の検討結果と市の見直し方針の詳細につきましては、次の表のとおりです。

問 伊奈庁舎企画課 ☎58-2111
(内線1221)

No.	事業名 (所属課)	判定結果		市の方針	市の方針理由および今後の見直しなど	当初予算額 (千円)		比較
		市民判定員	仕分け人			H25年度	H26年度	
1	シャトル便 運行事業 (総務課)	市実施 (要改善)	不要・凍結	廃止 ・ 改善	市民の移送について、庁舎間の利用状況は、月平均で約10人の利用者がいます。また、庁舎間を直接結ぶ公共交通機関が無く、現行のコミュニティバスのルートにおいても庁舎間の移動には時間が掛かってしまうことを考慮し、庁舎間の移動手段として、シャトル便事業を現行どおり運行します。ただし、今後行う、デマンド乗合タクシーやコミュニティバスのルート見直しなど公共交通機関の整備にあわせて、シャトル便による市民の移送は廃止の方向で検討していきます。	1,935	1,913	▲22
2	市道除草事業 (建設課)	市実施 (要改善)	市実施 (要改善)	見直し ・ 改善	本事業については、コストの削減の方法について検討する必要があり、今後は発注の方法について見直ししていきます。具体的には、まず業者に委託をしなければならない箇所とシルバー人材センターに委託できる箇所を選定します。その中で、業者へ委託する方法とシルバー人材センターへ委託する方法とどちらが費用対効果があるか判定し、委託します。入札については、指名業者数を増やすなど競争性を高めていきます。	24,641	29,586	4,945
3	①観光PR事業 (産業経済課)	市実施 (要改善)	市実施 (要改善)	観光協会 へ一元化	本事業については、観光協会育成支援事業へすべて移行し観光協会で事業展開していきます。当市では現在、つくばみらい市特産品地域ブランドの年内認証を目指しており(平成25年11月時点)、観光ガイドマップ作成においては、認証品を掲載するとともに、農地景観にも触れ、当市が誇る地域資源を有効的にPRしていきます。また、ガイドマップは、市内に限らず、市外および県外でのイベントにおいても積極的に配布します。さらに、観光大使による配布も行っていく当市の魅力を存分にPRしていきます。	2,549	0	▲2,549
	②観光協会 育成支援事業 (産業経済課)	不要・凍結	不要・凍結		本事業は、イベントでの市のPRはもちろん、他市観光協会との交流、特に今年は埼玉県伊奈町との友好都市提携により、相互のイベントにおいて交流を図っています。地域の活性化においては、観光に捉われない魅力ある街づくりを目指し、ワープステーション江戸を活用した地域活性化方針を検討するため、映像と街づくりをテーマとした勉強会を発足させました。多方面からの専門的意見を集約させて、平成25年度末までに、方針を見出し、内容によって観光協会の位置づけや役割を検討し、事業の展開を図っていきます。さらに、福岡堰桜並木の維持管理、観光ガイドマップの作成などPR事業の業務を観光協会が引き継ぎ、魅力ある街づくりを展開していきます。	7,533	12,667	5,134